

自己評価および学校関係者評価 公表シート (2019年度)

認定こども園 若葉幼稚園

記入日 2020年2月14日

1. 園の教育目標

神の愛を知り、いのちの尊さを知る子ども

2. 2019年度 重点目標・計画

年主題「ことばに満たされて一ひびきあうー」

年間計画に沿ったカリキュラムを組み保育を実践する。

保育者の園内外での研修を促す。

預かり保育など、子育て支援の充実を図る。

経営体制の健全化を図る。

無償化に向けて準備する。

3. 評価項目の達成、取り組み状況

区分	項目・内容	評価	理由・課題
1 教育課程 指導計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園の建学精神や教育目標を理解している ・ 「キリスト教保育」の指針の精神を理解し日常の保育に生かしている ・ 幼稚園教育要領の精神趣旨を理解して日常の保育に生かしている ・ 教育課程を理解し、指導計画を立てている ・ 幼児の成長発達に適した環境構成をしている ・ 安全で清潔感のある環境構成をしている ・ 幼児の発想、自主性を取り入れ季節に応じた楽しい環境構成をしている ・ 保育実践の反省、評価を定期的実施し、次の保育と計画に生かしている 	C	<ol style="list-style-type: none"> 1. 建学の精神については、理事者の意図が伝わっていない。 2. 教育課程については理解しているが、正職員が立案したものが、パート職にまで伝わっていない。 3. 反省、評価は、若い教師ほど良く行っている。 4. 朝の祈り会に出たいが、シフトの関係でできないこともある。
2 保育内容 幼児へ	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児の体調に常に気配りをしている ・ 園内に危険がないか、危険な遊びをしていないかを常に注意し事故を未然に防ぐようにしている ・ けがや事故の発生、体調不良の場合は直ちに園長に報告し家庭に連絡し適切な処置をしている ・ 一人ひとりの幼児の発達の姿、課題などを総合的・多面的に観察し理解している ・ 幼児と心を通わす関わりに心がけ、思いを受け止 	B	<ol style="list-style-type: none"> 1. 登園時に、保護者と子に声をかけ、視診している。 2. 教師と子、一対一で、話を聞き受け止めている。しかし、理解が難しいこともある。 3. 自分も楽しむことが大事だと思っている。 4. 子どもの姿、危険な場所などを

<p>の 対 応</p>	<p>め、心情をも理解している</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 目立つ幼児の動きと同時に、見えない所にいる幼児にも気を配っている ・ 幼児を一方向的な感じ方、考え方で決めつけないようにしている ・ 幼児の興味や関心、目線に共感しながら一緒に楽しく遊んでいる ・ 幼児の話を誠実に聴き、わかりやすい言葉で話している ・ 幼児をほめたり、励ましたり、意欲を持たせたりしている ・ 禁止、命令、急がせるなどの言葉や態度はできるだけ控えている ・ 幼児同士のトラブル、対立などには適切な対応で解決している ・ 幼児の一人ひとりについて保育者同士でクラスを超えて情報を共有し幼児に対応している ・ 他のクラスの幼児と関われるように遊びの形態などを工夫している ・ 特別な支援を要する幼児に対しては教職員全員が理解し、専門機関などの助言と連携で適切な対応をしている ・ 特別な支援を要する幼児の保育には保護者の願いや希望を理解し相互の信頼にたって誠実に行っている 		<p>保護者と共有している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 5. 乳児の目線で、分かりやすい言葉で話し、ほめている。 6. ひとつでも輝いているところを見つけ伝えている。 7. 自分でも学ぶ機会を積極的に設けている。 8. 「早く」「急いで」となるべき言わないように心掛けている。 9. 適切な言葉がけが出来ているか不安である。 10. 副担任、補助者と子どもの様子を語り合い、連携している。 11. 関りの仕方等、教師同士で話し合う必要を感じている。 12. 子どもの主体、自主性を重んじている。
<p>3 教 師 と し て の 資 質 、 能 力 ・ 研 修</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼稚園教諭としての専門知識や技能を高めようと意欲的に研修をしている ・ 保護者に対して保育や幼児の様子などについてわかりやすく話し、親しみと信頼を得るように努めている ・ 表情を明るく、元気な声で挨拶やお礼の言葉に心を込めて行っている ・ 服装、髪型、身だしなみなど保育に適切な清潔感を心がけている ・ 職務上知り得たプライバシーに関する情報、園の内部の情報などについての秘密を守っている ・ 公の金品、現金などの管理は間違えないように正確に行っている ・ 園の重要書類や教具、教材などは園外に持ち出さない 	<p>B</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. キ保連研修に参加し、キリスト教保育とは何かを学んだ。 2. 免許更新のときに研修を受けただけで、その後、研修に参加していない。参加したいが正職員優先で、フルタイム、パート職員は出席する機会がない。 3. 専門性を高められるように努力している。 4. 多くの研修に参加させていただいたので、今後の保育に生かしたい。 5. 副園長と情報を共有している。 6. 愚痴を言わないように気を付けている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育室はもちろん、園内外の清掃、整理整頓、施設、火気の点検などを行っている ・ 教職員全員で保育をしているひとつのチームであることを常に意識している ・ 会議や研修の話し合いを大切にし、自分の意見を述べたり人の意見を聴いたりしている ・ 話し合いの結果、決まったことには協力して実行している ・ 決まった当番・役割分担については責任を持って実行している ・ 保育や、保護者との関係での悩みや問題などは、早めに園長、副園長、主任に報告、連絡、相談をしている ・ 自然や社会、芸術や文化に対して興味を持ち保育に生かしている ・ 神様に対する畏敬と感謝の心を持ち、保育に喜びと使命を持っている 		<p>7. 会議の内容をふまえ、意識しながら保育している。どんなことにも目を留め、神様の恵みを感謝している。</p>
4 保 護 者 へ の 対 応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育についての考え、幼児の様子などを分かりやすく親しみを持って話して伝えている ・ 「子育て」についての諸々の悩みや相談に心を開いて相談できるように電話や連絡帳、家庭訪問、懇談会などを積極的に活用している ・ 「父母と教師の会」などの主体性を大事にし、援助、協力、相談に応じている ・ すべての保護者に対して区別や差別をせず保育者として、社会人としてのマナーを守り、節度ある落ち着いた対応をしている 	A	<ol style="list-style-type: none"> 1. 相談には応じるように配慮している。 2. お迎えのとき、その日にあったことを伝えるように努力しているが、難しさも経験している。 3. 喜びや感動を共有し、何でも話し合える関係を築きたい。 4. 連絡帳、電話で大切なことは伝えている。
5 外 部 と の か か わ り	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所や小学校の保育や教育に関心を持って研修し幼稚園との連携の必要性を理解している ・ 地域での「子育て支援」の大切さや内容に関心を持っている ・ 「げんきっこ」の大切さを理解して積極的に行っている ・ 施設訪問を積極的に行い、地域との交流を図っている。 	C	<ol style="list-style-type: none"> 1. 幼保小連携は、まだできていない。 2. 小学校との連携を図り、交流会など機会を作りたい。 3. 老人ホームを訪問し、お年寄りを励ましている。
6 環 境 に	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの育ちにふさわしい環境について考え、環境整備を行なっている。 ・ 園庭、畑、花壇、砂場、樹木、遊具などが幼児に 	B	<ol style="list-style-type: none"> 1. 園庭の自然や散歩のとき、自らも子供と共に自然にふれ共感している。 2. 散歩時に、花、虫の名前を教え

関 し て	とってどのような意味を持つのかを理解し、保育に活用している ・ 草花、野菜、虫などの生き物の成長や季節の変化などを考慮し保育に生かしている	ている。 3. 子どもが興味を持つように事前に調べている。 4. できるだけ戸外で、四季を感じる保育をしたい。
そ の 他	1. 園の建学の精神、教育目標や重点目標が教職員に徹底していないことが分かった。 2. その日の園務が正職員には分かっているが、フルやパート職員に伝わっていないことがある。 3. クラス担当、乳児、幼児の打ち合わせ、また全体の打ち合わせの中で、意見を出し合える時間を取りたい。 4. 新制度により職員が増えている。このことで本園が培ってきた歴史や、キリスト教保育の理念、保育の質が損なわれないようにしなければならない。	

4. 財務状況

月締め毎に、帳簿、現金の照合をして間違いのないようにしている。

公認会計士の意見を聞き対応している。

無償化で、事務職員には覚えること、処理すべき仕事が多く、多忙に1年であった。

5. 安全管理

ほぼ毎月、避難訓練を実施し、危機に備えている。

給食の安全管理に気を付けている。

学校薬剤師をおき、環境検査も行っている。

職員全員の健康診断を行っている。

全職員を、園で生命保険にかけている。

6. 次年度の課題

「建学の精神」の周知、徹底を図る。朝の祈り会にできるだけ出席できるようにする。

処遇改善手当を生かし、保育者の資質向上のための研修の充実を図る。

職員間の意志の疎通、和、助けあい。

7. 学校評価委員会の総合的評価

給食には一人一人に対応され、気をつけており感謝である。

近年、制度が急速に変化する中、良好に対応している。

子どもへ善悪の指導を示し、子供にも納得する教育をしている。

園の努力を保護者にも伝えると良い。

学校評価委員会の評価 **B+**

A	・ 十分できている
B	・ できている
C	・ 取り組まれているが十分ではない
D	・ できていない